

北  
海  
玉  
林  
電  
影  
公司  
總  
經  
理  
即  
日  
啟

郵局一四二  
郵局一四二



藏



大阪市西區南堀江通壹丁目

勝本忠兵衛

お立へば風が立へるよ

中上庄、水谷、大介等

ヨー、事務の件の様子

仕事は、寒風一過

寧ろ都寂の感がある

ちり吹きによるもの

差せ化近阪賀湯跡

吉松田中孝伊の事

つれ話、此處一色

故連例の事件を記述

御内門寺神社裏参道

の氣味ぬくとお眠りま

むくとお眠りなじみ

の氣が大きくなる  
やうに進んでゐるのを  
覺めたと初一月の内は  
ツモ山東の氣がえり  
て多く事々運転不足  
もあつてかゆい所といテ  
了あゆひて而御車に  
之でフランク居る  
彼の心中鳥居、勘  
定の義理と親の良  
いとは非常に其間取  
ね子三れ子と號と神經  
と博多へ歸るから少  
少ちよおねの事わざ  
中止おなづは内窓にて

と懐きし 月はたらく

柳

就うちも大樹の事わざ  
室上あたすは内密へ  
廻一、家へ難堪の  
まやでてやむをち  
下されぬうへはれ  
やかよどぎの御とゆ  
山喜と詠へて御  
十一月二十九日  
時ます

久居老之は人